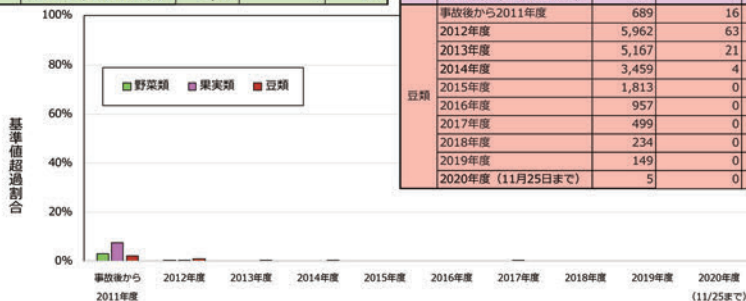


	検査期間	検査点数	基準値超過点数	超過割合
野菜類	事故後から2011年度	12,671	385	3.0%
	2012年度	18,570	5	0.03%
	2013年度	19,657	0	0%
	2014年度	16,712	0	0%
	2015年度	12,205	0	0%
	2016年度	10,810	0	0%
	2017年度	8,275	0	0%
	2018年度	6,728	0	0%
	2019年度	5,349	0	0%
	2020年度(11月25日まで)	2,773	0	0%

	検査期間	検査点数	基準値超過点数	超過割合
果実類	事故後から2011年度	2,732	210	7.7%
	2012年度	4,478	13	0.3%
	2013年度	4,243	0	0%
	2014年度	3,302	0	0%
	2015年度	2,783	0	0%
	2016年度	2,155	0	0%
	2017年度	1,579	1	0.06%
	2018年度	1,296	0	0%
	2019年度	1,052	0	0%
	2020年度(11月25日まで)	569	0	0%
豆類	事故後から2011年度	689	16	2.3%
	2012年度	5,962	63	1.1%
	2013年度	5,167	21	0.4%
	2014年度	3,459	4	0.1%
	2015年度	1,813	0	0%
	2016年度	957	0	0%
	2017年度	499	0	0%
	2018年度	234	0	0%
	2019年度	149	0	0%
	2020年度(11月25日まで)	5	0	0%



※集計対象：食品中の放射性物質に関する「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」において、検査対象自治体となっている17都県

※豆類は産年での集計値

農産物に含まれる放射性セシウム濃度の検査結果（農林水産省）、食品中の放射性物質の検査結果について（厚生労働省）より作成

野菜類、果実類、豆類の生産や出荷にあたっては、カリウム肥料の施肥による放射性セシウム吸収抑制対策等を行っています（下巻P61「農産物に係る放射性物質の移行低減対策（2/5）－カリ施肥による吸収抑制対策－」）。

野菜類、豆類は2015年度産以降、2019年10月現在まで、基準値超過はみられません。

また、果実類は、2013年度産以降、2016年度まで基準値超過はみられませんでしたが、2017年度産では基準値超過1件となっていますが、2018年度産以降は基準値超過はみられていません。なお、この基準値とは、2012年4月より設定された100Bq/kgのことを指します（2011年度は暫定規制値が適用されていましたが、2012年以降の結果と比較するために、現在の基準で集計しております）。

本資料への収録日：2018年2月28日

改訂日：2021年3月31日